

「百人隊長の僕（役人の息子）のいやし」三福音書比較

マタイによる福音書 8 章	ルカによる福音書 7 章	ヨハネによる福音書 4 章
(5) さて、イエスがカファルナウムに入られると、	(1) イエスは、民衆にこれらの言葉をすべて話し終えてから、カファルナウムに入られた。	(46) イエスは、再びガリラヤのカナに行かれた。そこは、前にイエスが水をぶどう酒に変えられた所である。
一人の百人隊長が近づいて来て懇願し、 (6) 「主よ、わたしの僕が中風で家に寝込んで、ひどく苦しんでいます」と言った。	(2) ところで、ある百人隊長に重んじられている部下が、病気で死にかかっていた。 (3) イエスのことを聞いた百人隊長は、ユダヤ人の長老たちを使いに来て、部下を助けに来てくださるように頼んだ。	さて、カファルナウムに王の役人がいて、その息子が病気であった。 (47) この人は、イエスがユダヤからガリラヤに来られたと聞き、イエスのもとに行き、カファルナウムまで下って来て息子をいやしてくださるように頼んだ。息子が死にかかっていたからである。
	(4-5) 長老たちはイエスのもとに来て、熱心に願った。「あの方は、そうしていただくのにふさわしい人です。わたしたちユダヤ人を愛して、自ら会堂を建ててくれたのです。」	
(7) そこでイエスは、「わたしが行って、いやしてあげよう」と言われた。	(6) そこで、イエスは一緒に出かけられた。	
(8) すると、百人隊長は答えた。  「主よ、わたしはあなたを自分の屋根の下にお迎えるような者ではありません。  ただ、ひと言おっしゃってください。そうすれば、わたしの僕はいやされます。  (9) わたしも権威の下にある者ですが、わたしの下には兵隊がおり、一人に『行け』と言えば行きますし、他の一人に『来い』と言えば来ます。また、部下に『これをしろ』と言えば、そのとおりにします。」	ところが、その家からほど遠からぬ所まで来たとき、百人隊長は友達を使いに来て言わせた。 「主よ、御足労には及びません。わたしはあなたを自分の屋根の下にお迎えるような者ではありません。  (7) ですから、わたしの方からお伺いするのさえふさわしくありません。ひと言おっしゃってください。そして、わたしの僕をいやしてください。  (8) わたしも権威の下に置かれている者ですが、わたしの下には兵隊がおり、一人に『行け』と言えば行きますし、他の一人に『来い』と言えば来ます。また部下に『これをしろ』と言えば、そのとおりにします。」	
(10) イエスはこれを聞いて感心し、従っていた人々に言われた。  「はっきり言っておく。イスラエルの中でさえ、わたしはこれほどの信仰を見たことがない。  (11) 言っておくが、いつか、東や西から大勢の人が来て、天の国でアブラハム、イサク、ヤコブと共に宴会の席に着く。  (12) だが、御国の子らは、外の暗闇に追い出される。そこで泣きわめいて歯ざしりするだろう。」	(9) イエスはこれを聞いて感心し、従っていた群衆の方を振り向いて言われた。  「言っておくが、イスラエルの中でさえ、わたしはこれほどの信仰を見たことがない。」	
		(48) イエスは役人に、「あなたがたは、しるしや不思議な業を見なければ、決して信じない」と言われた。  (49) 役人は、「主よ、子供が死なないうちに、おいでください」と言った。
(13) そして、百人隊長に言われた。「帰りなさい。あなたが信じたとおりになるように。」		(50) イエスは言われた。「帰りなさい。あなたの息子は生きる。」  その人は、イエスの言われた言葉を信じて帰って行った。
ちょうどそのとき、僕の病気はいやされた。	(10) 使いに行った人たちが家に帰ってみると、その部下は元気になっていた。	(51) ところが、下って行く途中、僕たちが迎えに来て、その子が生きていることを告げた。  (52) そこで、息子の病気が良くなった時刻を尋ねると、僕たちは、「きのうの午後一時に熱が下がりました」と言った。  (53) それは、イエスが「あなたの息子は生きる」と言われたのと同じ時刻であることを、この父親は知った。そして、彼もその家族もこぞって信じた。
		(54) これは、イエスがユダヤからガリラヤに来てなされた、二回目のしるしである。